

文化的・社会的貢献活動(その1)

■ しんくみいきき献血運動

9月3日の「しんくみの日」にあわせた社会貢献活動として、献血運動を毎年実施しています。23回目となる令和6年度は9月3日(火)、シンヨービル13階大会議室を会場に実施しました。近隣にお勤めの方にも声掛けしたほか、1階の受付カウンターやエレベーターホールにも催し案内を掲示しました。当日は近隣の営業店からも職員が積極的に参加し、日本赤十字社の目標人数を上回る、74名の方(来場者88名)に献血をしていただきました。この23年間の実績は延べ参加者1,423名、献血者1,050名となりました。今後も社会、地域が求める活動に積極的に参加していきます。



■ しんくみの日週間の寄付金贈呈

9月3日を「しんくみの日」と定め、信用組合では各種の社会貢献運動を実施しています。その一環として似島学園(広島市南区)、三矢会太田川学園(広島市安佐南区)と広島修道院(広島市東区)の各社会福祉法人に寄付金を贈呈しました。三矢会太田川学園は昭和43年に開園し、県内有数の規模で運営されています。同学園ではアート活動が盛んで、「ハナサクモリ」というギャラリーを開設し、たくさんの作品を展示しています。似島学園は広島湾に浮かぶ似島にて、昭和21年より児童福祉事業を営まれ、山麓に広がる敷地で子どもたちがのびのびと生活を送っています。広島修道院は明治22年に創設された歴史と伝統のある施設で、様々な事情のある0歳から概ね18歳までの子どもたちが各種の施設に分かれ、家庭的な雰囲気の中で生活しています。これらの寄付が福祉活動の一助となることを願い、これからも地域社会に貢献していきます。

■ 社会福祉法人三矢会



■ 社会福祉法人似島学園



■ 社会福祉法人広島修道院



■ RCCラジオ・チャリティ・ミュージックソン募金

目の不自由な方に音の出る信号機を贈るため、ラジオとイベントを通じて募金を呼びかける中国放送の支援キャンペーンに1回目から毎年参加し、広島地区での「RCCラジオ・チャリティ・ミュージックソン」募金活動に協力しています。令和5年度は約888万円もの募金が中国放送に集まり、県営グランド南(広島市西区)、三菱沼田団地入口(広島市安佐南区)、三原大橋北詰(三原市皆実)、吉和交番前(尾道市古浜町)の信号機設置に役立てられました。これで県内46か所に音の出る信号機が設置されたことになります。17回目となる令和6年度も11月から令和7年1月末までの募集期間に合わせて、全店デジタルサイネージに告知ポスターを掲出し、募金箱を本店営業部のカウンターに設置しました。また募金の振込手数料を無料とし、役職員も募金に協力しました。中国放送には約650万円の募金が集まり、新たな信号機を設置する予定です。これからも地域社会のために協力していきます。



三菱沼田団地入口交差点

■ 大学生のインターンシップ受け入れ

産学連携の取り組みとして、毎年インターンシップの学生を受け入れています。令和7年2月13日(木)、令和8年3月卒業予定者を対象に広島市内の大学生や短大生の計6校、22名を受け入れ、ワンデイインターンシップを実施しました。午前中は本部で当組合の概要と業務の説明、DVDの視聴、ビジネスマナーを研修しました。午後からは6店舗に分かれて日常の事務や接客の実務、得意先係との同行訪問などを実習していただきました。さまざまな研修を通じて、将来の地域を担う若い人材が育つことを期待しています。



■ 小学校の生活科学習「町たんけん」に五月が丘支店協力

令和6年10月22日(火)、広島市立五月が丘小学校で実施された生活科学習「町たんけん」に五月が丘支店が協力しました。この学習は、見学やインタビューなどの活動を通し、自分たちの町の良さに気づき、地域の人や場所への愛着を深める校外学習です。当日は2年生の子どもたち7名と引率の保護者5名が支店を訪れ、地域金融機関の仕事を見学しました。担当職員が紙幣を数える様子がまるで手品のように見えたのか熱心に見入っていました。また模擬紙幣を使って、子どもたちが枚数を数えるタイムを競うゲームも行いました。ATMの内部を観察した際には、紙幣がシステムチックに動く仕組みに大興奮。金庫の扉の大きさと厚み、重さには感動。参加した子どもたちの様子に、対応した職員たちは地域に密着することの大切さを再認識しました。



■ 第26回さえき桜まつり 桜マルシェに五日市支店協力

令和7年4月12日(土)と13日(日)、第26回さえき桜まつり 桜マルシェが開催され、支店職員3名が運営に協力しました。このイベントは、お花見の名所で有名な造幣局広島支局の「花のまわりみち」という桜見物イベントに合わせて、隣接する佐伯区民文化センターエントランス(広島市佐伯区)を会場に行われました。キッチンカーや雑貨等のマルシェ、音楽ライブやガラポン抽選会、ゲームなどがあり、両日とも多くの来場者でにぎわいました。職員は射的ゲームの運営を行い、来場された取引先や地域の皆さんと楽しい一日を過ごしました。これからも地域の一員として、地域活性化のため様々なカタチで協力していきます。



文化的・社会的貢献活動(その2)

■ 地元の催しに大朝支店協力

地元根付いたイベントや伝統行事に積極的に参加し、地域の活性化に協力していきます。

■ 第10回大朝鯖祭り

「サバが好きの子寄っといで!!」のキャッチをつけた第10回大朝鯖祭りが令和6年11月17日(日)、大朝支店前のわさまち通り商店街で開催され、支店職員も祭りのにぎわいに協力しました。祭りは16日(土)の前夜祭の酒蔵内ライブから盛り上がり、祭り本番の当日では大人気の鯖寿司を求めて大行列に。また支店横のJR跡地広場にはキッチンカーや野菜市もでき、地元のグルメが多数販売され、戦前の風習をつなぐ地域の祭りは大盛況でした。



■ 大朝春市「わさまち」

令和7年4月29日(祝・火)、北広島町大朝ショッピングセンター「わさ〜る」とわさまち通り商店街を会場に、「わさまち」と銘打った春祭りが行われ、支店職員が全員で参加し、会場のゴミ回収に協力しました。当日は暖かい春の陽にあふれたイベント日和の一日となり、会場ではこども神輿が元気に回り、ステージでは広島新庄学園の吹奏楽部の演奏をはじめ、地元子どもたちが元気にパフォーマンスを披露しました。



■ 新庄はやし田(大花田植)

令和7年5月11日(日)、北広島町の鳴滝溪谷入口で行われた「新庄はやし田(大花田植)」に協力し、会場のすぐ近くにあるふれあい荘の施設と駐車場を提供しました。これは北広島町新庄地区に古くから伝わる、田植え行事であり、中国山地の各地で継承されてきた民俗芸能の一つです。田植歌に合わせて赤い首玉をまとい背に豪華な飾り鞍をかけた牛の代掻きから始まり、早乙女が一行に並んで早苗を植える姿を多くの方が見守りました。



あ げ あ げ ■ 第12回安芸安芸まつりに府中支店が協力

令和6年11月24日(日)、フォレオ広島東(広島市東区温品)で開催された「第12回安芸安芸まつり」に府中支店から3名の職員が運営のお手伝いをしました。このイベントは旧安芸町である馬木地区、福田地区、温品地区を盛り上げるお祭りとして始まったそうです。以前よりお取引先からお誘いいただいていたこともあり、コロナ禍も落ち着いたので、今回初めて参加しました。当日は、良い天気にも恵まれ、多くの来場者がステージ発表、グルメブース、フリマブース、ゲームコーナーなどで大いに盛り上がりました。職員は、一番人気の大抽選会を手伝い汗をかきました。会場が店舗から近いということもあって、顔なじみのお客さまとの深耕を深める良い機会にもなりました。移転オープンから半年、多くの地元のお客さまに応援していただいたことへの感謝の気持ちを込めて参加しました。今後も地域イベントに協力していきます。



■ 酒まつりに西条中央支店協力

令和6年10月12日(土)と13日(日)に、「日本酒」と「市制50周年」をテーマに35回目の酒まつりが東広島市西条町の西条中央公園と西条酒蔵通りの一帯で開催され、2日間で延べ約23万人が訪れました。幅広い年代が楽しめるように、全国の地酒が約800銘柄試飲できる「酒ひろば」などバラエティに富んだイベントが各所で繰り広げられました。支店の駐車場は今年も地元のそろばん教室が主催するフラッシュ暗算大会の会場となり、当日は暗算大会と大抽選会に参加した親子で大いに盛り上がりました。また、支店職員2名は12日(土)の午後、広島大学キャンパスと会場を結ぶピストンバスのターミナルとなった大学構内の駐車場の整理に協力しました。



■ 第33回南の風EBAあそびに江波支店協力

例年2月の第2日曜日に江波山公園を会場に開かれる「南の風EBAあそび」が今年も令和7年2月9日(日)に催され、江波支店の職員4名が参加しました。会場の所々に積雪が残るものの温かい日差しの中、地域の皆さんがたくさん集い大盛況でした。今回で33回目となるオープニングではジャンボ江波巻きづくりを来場者全員で、ステージでは広島市消防音楽隊の演奏や各種団体のパフォーマンスで大いに盛り上がりしました。会場では多くの模擬店や昔あそび、工作コーナーがあり、小さなお子さんからシニアの方まで幅広い世代が楽しみました。歴史と今を融合させ、地域の一体感を育む江波地区。これからも地域の一員として、活性化のお手伝いを続けていきます。



文化的・社会的貢献活動（その3）

■ グラウンド・ゴルフ大会に向洋支店協力

令和7年5月14日（水）、向洋支店が主催する「第28回グラウンド・ゴルフ大会」を広島市東部浄化センター運動広場（広島市南区）で開催しました。このグラウンドは海田大橋と太田川東部浄化センター、洋光台団地に囲まれた閑静な環境にあるので、参加者は真剣に楽しくプレーに集中することができました。開会式の後、総勢85名の参加者は各自スタートするホールにわかれ、合図とともにプレーを開始しました。広いグラウンドいっぱいに広がった16ホールには選手の大きな声援と笑い声があふれました。梅雨入り前の晴天のおかげで、グラウンドの土は固くて、選手のカラフルなボールはよく転がって距離が延びたようです。運営した職員は、参加した地域の皆さんとのふれあいを通じて、地域とつながる大切さを再認識しました。



■ 第24回万徳院 春を食えるかいに千代田支店協力

令和7年4月27日（日）、「第24回万徳院 春を食えるかい」が北広島町舞網にある万徳院歴史公園を会場に開催され、千代田支店の職員3名が運営に協力しました。朝から晴天に恵まれたこの催しでは山の幸“山菜”や猪肉などの料理を味わい、中世時代の蒸し風呂体験や、戦国時代の庭園鑑賞ができました。また“えんがわステージ”と題した舞台では地元の子供達からシニアの皆さんが歌やダンス、演奏を披露しました。今後も、地元の皆さんと協力しながら、地域に貢献していきます。



■ 祭り「えんこうさん」に駅前支店協力

令和7年4月5日（土）、猿猴橋（広島市南区）をメイン会場に「えんこうさん」の祭りが開催され、駅前支店が協賛しました。このお祭りは広島城下の西国街道に架かり、広島の「東の玄関口」として古くから交通の要衝であった猿猴橋を往時の姿に復元したことを記念し、広島駅周辺地域のまちづくり振興を目的に毎年開催されています。当日は、猿猴川のほとり一帯に設置された多くの「ぼんぼり」の一つに組合名も掲載され、夜桜を明るく照らしていました。支店職員は全員で、ご縁幸祭事の儀式と神輿のお通りを見物しました。令和7年3月にJR広島駅にminamoaが開業し、さらに発展が期待される広島駅周辺地域のにぎわいづくりに、これからも協力していきます。

